

# NBストラテジック・ インカム・ファンド〈ラップ〉

米ドルコース

円コース

世界通貨分散コース

## 運用報告書(全体版)

### 第9期

(決算日 2019年5月16日)

(作成対象期間 2018年11月17日～2019年5月16日)

#### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米ドル建ての複数種別の債券等に投資するとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先(コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3247>  
<3248>  
<3249>

#### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券
信託期間	約10年間(2014年11月28日～2024年11月15日)
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ/NB・ストラテジック・インカム・ファンド(※)」の受益証券(円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券 (※)は、以下の各コースにおいて、次のように読み替えるものとします。 「米ドルコース」の場合…ノンヘッジ/N1クラス 「円コース」の場合…円ヘッジ/N1クラス 「世界通貨分散コース」の場合…通貨分散/N1クラス
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

## 米ドルコース

## 最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	(分 配 落)	税 分 込 配 み 金	期 騰 落	中 率			
5 期 末 (2017年 5 月 16 日)	円 9,815	円 0		% 7.0	% 0.0	% 98.7	百万円 159
6 期 末 (2017年 11 月 16 日)	9,851	0		0.4	—	98.7	127
7 期 末 (2018年 5 月 16 日)	9,484	0	△	3.7	—	98.0	122
8 期 末 (2018年 11 月 16 日)	9,528	0		0.5	—	98.6	103
9 期 末 (2019年 5 月 16 日)	9,582	0		0.6	—	99.4	90

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額・騰落率

期首：9,528円

期末：9,582円（分配金0円）

騰落率：0.6%（分配金込み）

### 基準価額の主な変動要因

ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）の受益証券を通じて、米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資し運用した結果、保有債券の価格の上昇（債券利回りの低下）がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）：ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／NB・ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）

NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉 米ドルコース

年 月 日	基 準 価 額		公 社 組 比	債 入 率	投 資 受 組	資 益 入	信 証 比	託 券 率
	騰 落 率							
(期 首) 2018年11月16日	円 9,528	% —		% —				% 98.6
11月末	9,533	0.1		—				99.1
12月末	9,249	△ 2.9		—				98.9
2019年 1 月末	9,397	△ 1.4		—				99.0
2 月末	9,600	0.8		—				99.4
3 月末	9,636	1.1		—				99.1
4 月末	9,777	2.6		—				97.4
(期 末) 2019年 5 月16日	9,582	0.6		—				99.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2018. 11. 17 ~ 2019. 5. 16)

### ■ 米国債券市況

米国債券市場では、10年債利回りで見ると金利は低下しました。

当作成期首から2019年1月上旬にかけては、原油価格の下落を受けたインフレ圧力の低下や米中貿易摩擦に伴う景気鈍化への懸念、またF R B（米国連邦準備制度理事会）の金融引き締め姿勢の後退などから、金利は大幅に低下しました。その後は一進一退の展開が続きましたが、3月に入ると、米国の経済指標の下振れや欧州の景況感の大幅な悪化を受けた世界的な景気悪化観測が高まったほか、F R Bによる緩和的な政策姿勢などから金利低下圧力が強まりました。4月には、米国や中国の経済指標の改善を受けて金利は一時上昇に転じたものの、その後は米中貿易摩擦の深刻化などが意識されて金利は再度低下し、当作成期末を迎えました。

### ■ 為替相場

米ドルは対円で下落しました。

米ドル円為替相場は、当作成期首から2018年12月半ばまでは、おおむねボックス圏での推移となりましたが、2019年1月初旬にかけては株価や原油価格が下落し、市場のリスク回避姿勢が強まったことから急速に円高米ドル安が進行しました。1月中旬から4月末にかけては、F R B（米国連邦準備制度理事会）が利上げについて柔軟に対応する姿勢を見せたことや株式市場の回復などを背景に、円安米ドル高基調が継続しました。しかし5月に入ると、米国による中国への関税引き上げの発表などを受けて円が買い戻され、米ドル円は下落しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■ 当ファンド

ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建ての複数種別の債券等（※）に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

### ■ ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等（※）に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

※国債・政府機関債、投資適格社債、ハイ・イールド社債、資産担保証券、バンクローン等です。

## ポートフォリオについて

(2018. 11. 17 ~ 2019. 5. 16)

### ■当ファンド

当ファンドは、ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）への投資割合を高位に維持しました。

### ■ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債や現先取引、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を行いませんでした。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当期	
	2018年11月17日 ～2019年5月16日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	371

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針

### 当ファンド

ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

### ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

### ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018. 11. 17~2019. 5. 16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	22円	0.230%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,539円です。
(投 信 会 社)	(18)	(0.187)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(3)	(0.027)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	22	0.234	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2018年11月17日から2019年5月16日まで)

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 68.26489	千円 8,500	千口 167.36698	千円 21,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2018年11月17日から2019年5月16日まで)

当 期				当 期			
銘 柄	買 付			銘 柄	売 付		
	口 数	金 額	平均単価		口 数	金 額	平均単価
NB STRATEGIC INCOME FUND NON HEDGED N1 CLASS (ケイマン諸島)	千口 68.26489	千円 8,500	円 124	NB STRATEGIC INCOME FUND NON HEDGED N1 CLASS (ケイマン諸島)	千口 167.36698	千円 21,000	円 125

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2018年11月17日から2019年5月16日まで)

決 算 期	当 期			当 期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	350	350	100.0	—	—	—
コール・ローン	8,043,208	—	—	—	—	—
現先取引(その他有価証券)	113,999	—	—	113,999	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) NB STRATEGIC INCOME FUND NON HEDGED N1 CLASS	720.16527	90,193	99.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首			当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	0	0	0	0	0	0

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年5月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	90,193	99.1
ダイワ・マネー・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	819	0.9
投資信託財産総額	91,013	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年5月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	91,013,728円
コール・ローン等	819,232
投資信託受益証券(評価額)	90,193,498
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	998
(B) 負債	230,435
未払信託報酬	226,578
その他未払費用	3,857
(C) 純資産総額(A-B)	90,783,293
元本	94,746,644
次期繰越損益金	△ 3,963,351
(D) 受益権総口数	94,746,644口
1万口当り基準価額(C/D)	9,582円

\* 期首における元本額は108,465,749円、当作成期間中における追加設定元本額は8,912,148円、同解約元本額は22,631,253円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,582円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,963,351円です。

■損益の状況

当期 自2018年11月17日 至2019年5月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 324円
受取利息	35
支払利息	△ 359
(B) 有価証券売買損益	752,543
売買益	864,992
売買損	△ 112,449
(C) 信託報酬等	△ 230,449
(D) 当期損益金(A+B+C)	521,770
(E) 前期繰越損益金	△ 645,970
(F) 追加信託差損益金	△ 3,839,151
(配当等相当額)	( 1,823,040)
(売買損益相当額)	(△ 5,662,191)
(G) 合計(D+E+F)	△ 3,963,351
次期繰越損益金(G)	△ 3,963,351
追加信託差損益金	△ 3,839,151
(配当等相当額)	( 1,823,040)
(売買損益相当額)	(△ 5,662,191)
分配準備積立金	1,693,261
繰越損益金	△ 1,817,461

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	1,823,040
(d) 分配準備積立金	1,693,261
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	3,516,301
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	3,516,301
(h) 受益権総口数	94,746,644口

## 円コース

## 最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	(分 配 落)	税 込 配 金	期 騰 落 中 率			
5 期末 (2017年 5 月16日)	円 9,964	円 0	% 1.8	% 0.0	% 99.1	百万円 535
6 期末 (2017年11月16日)	9,963	0	△ 0.0	—	99.4	549
7 期末 (2018年 5 月16日)	9,717	0	△ 2.5	—	98.8	581
8 期末 (2018年11月16日)	9,383	0	△ 3.4	—	99.5	521
9 期末 (2019年 5 月16日)	9,593	0	2.2	—	98.6	527

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

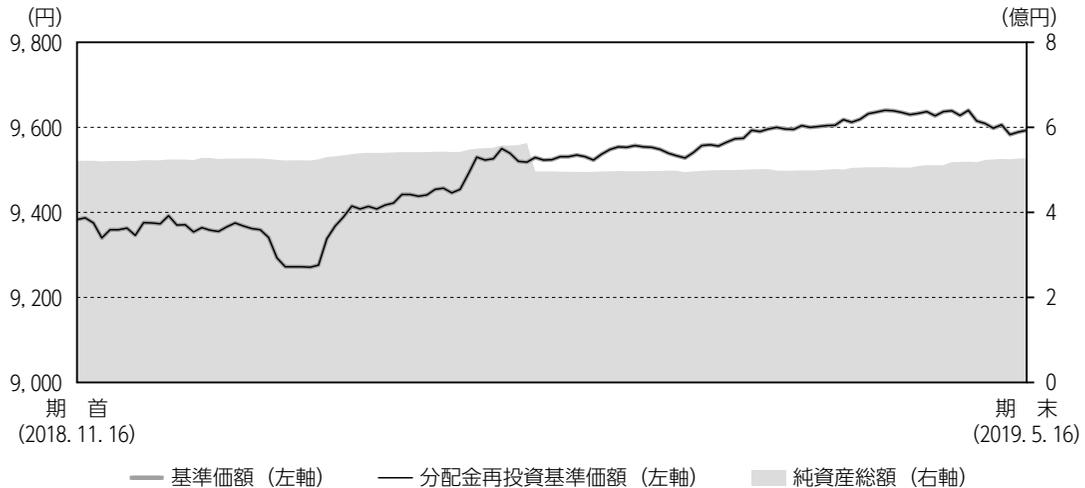
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額・騰落率

期首：9,383円

期末：9,593円（分配金0円）

騰落率：2.2%（分配金込み）

### 基準価額の主な変動要因

ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）の受益証券を通じて、米ドル建ての複数種類の債券等に分散投資し、為替ヘッジを行い運用した結果、保有債券の価格の上昇（債券利回りの低下）がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）：ダイワ・プレミアム・トラスト・ダイワ／NB・ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）

NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉 円コース

年 月 日	基 準 価 額		公 社 組 比	債 入 率	投 資 受 組	信 証 入 比	託 券 率
	円	騰 落 率					
(期 首) 2018年11月16日	9,383	—		—			99.5
11月末	9,375	△ 0.1		—			99.2
12月末	9,271	△ 1.2		—			99.2
2019年 1 月末	9,491	1.2		—			98.7
2 月末	9,553	1.8		—			99.4
3 月末	9,595	2.3		—			99.6
4 月末	9,628	2.6		—			97.0
(期 末) 2019年 5 月16日	9,593	2.2		—			98.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2018. 11. 17 ~ 2019. 5. 16)

## ■米国債券市況

米国債券市場では、10年債利回りで見ると金利は低下しました。

当作成期首から2019年1月上旬にかけては、原油価格の下落を受けたインフレ圧力の低下や米中貿易摩擦に伴う景気鈍化への懸念、またF R B（米国連邦準備制度理事会）の金融引き締め姿勢の後退などから、金利は大幅に低下しました。その後は一進一退の展開が続きましたが、3月に入ると、米国の経済指標の下振れや欧州の景況感の大幅な悪化を受けた世界的な景気悪化観測が高まったほか、F R Bによる緩和的な政策姿勢などから金利低下圧力が強まりました。4月には、米国や中国の経済指標の改善を受けて金利は一時上昇に転じたものの、その後は米中貿易摩擦の深刻化などが意識されて金利は再度低下し、当作成期末を迎えました。

## ■短期金利市況

短期金利市況は、日本では日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持し、短期金利は低位で推移しました。

一方、米国では、2018年12月に利上げを実施し、政策金利の誘導目標レンジを2.00~2.25%から2.25~2.50%に引き上げました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

## ■当ファンド

ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建ての複数種別の債券等（※）に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンの最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

## ■ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等（※）に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンの最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

※国債・政府機関債、投資適格社債、ハイ・イールド社債、資産担保証券、バンクローン等です。

## ポートフォリオについて

(2018. 11. 17 ~ 2019. 5. 16)

### ■当ファンド

当ファンドは、ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）への投資割合を高位に維持しました。

### ■ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債や現先取引、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を行いませんでした。  
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2018年11月17日 ～2019年5月16日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	230

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針

### 当ファンド

ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）への投資割合を高位に保つことにより、米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

### ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

## ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018. 11. 17~2019. 5. 16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	22円	0.230%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>当作成期中の平均基準価額は9,495円です。</b>
(投信会社)	(18)	(0.187)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販売会社)	(3)	(0.027)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(2)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	22	0.234	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## ■売買および取引の状況

## 投資信託受益証券

(2018年11月17日から2019年5月16日まで)

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 523.09736	千円 54,000	千口 629.07081	千円 65,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ■主要な売買銘柄

## 投資信託受益証券

(2018年11月17日から2019年5月16日まで)

当				期			
銘 柄	買 付			売 付			
	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
NB STRATEGIC INCOME FUND JPY HEDGED N 1 CLASS (ケイマン諸島)	千口 523.09736	千円 54,000	円 103	NB STRATEGIC INCOME FUND JPY HEDGED N 1 CLASS (ケイマン諸島)	千口 629.07081	千円 65,000	円 103

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ■利害関係人との取引状況等

## (1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

## (2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2018年11月17日から2019年5月16日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	350	350	100.0	—	—	—
コール・ローン	8,043,208	—	—	—	—	—
現物取引(その他有価証券)	113,999	—	—	113,999	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

## (3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) NB STRATEGIC INCOME FUND JPY HEDGED N1 CLASS	4,997.44906	520,454	98.6

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首			当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	0	0	0	0	0	0

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年5月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	520,454	98.4
ダイワ・マネー・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	8,516	1.6
投資信託財産総額	528,971	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年5月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	528,971,738円
コール・ローン等	8,516,406
投資信託受益証券 (評価額)	520,454,334
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	998
(B) 負債	1,214,366
未払信託報酬	1,193,594
その他未払費用	20,772
(C) 純資産総額 (A - B)	527,757,372
元本	550,140,770
次期繰越損益金	△ 22,383,398
(D) 受益権総口数	550,140,770口
1万口当り基準価額 (C/D)	9,593円

\* 期首における元本額は555,611,533円、当作成期間中における追加設定元本額は95,983,838円、同解約元本額は101,454,601円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,593円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は22,383,398円です。

■損益の状況

当期 自2018年11月17日 至2019年5月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 1,952円
受取利息	154
支払利息	△ 2,106
(B) 有価証券売買損益	11,544,990
売買益	12,880,053
売買損	△ 1,335,063
(C) 信託報酬等	△ 1,214,502
(D) 当期損益金 (A + B + C)	10,328,536
(E) 前期繰越損益金	△ 21,679,680
(F) 追加信託差損益金	△ 11,032,254
(配当等相当額)	( 9,036,574)
(売買損益相当額)	(△ 20,068,828)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 22,383,398
次期繰越損益金 (G)	△ 22,383,398
追加信託差損益金	△ 11,032,254
(配当等相当額)	( 9,036,574)
(売買損益相当額)	(△ 20,068,828)
分配準備積立金	3,659,842
繰越損益金	△ 15,010,986

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	9,036,574
(d) 分配準備積立金	3,659,842
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	12,696,416
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	12,696,416
(h) 受益権総口数	550,140,770口

## 世界通貨分散コース

## 最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	(分 配 落)	税 分 込 配 み 金	期 騰 落 中 率	円			
5 期 末 (2017年 5 月 16 日)	円 8,923	円 0	% 12.6	% 0.0	% 99.5	百万円 17	
6 期 末 (2017年 11 月 16 日)	9,062	0	1.6	—	99.2	16	
7 期 末 (2018年 5 月 16 日)	8,640	0	△ 4.7	—	99.4	13	
8 期 末 (2018年 11 月 16 日)	8,391	0	△ 2.9	—	99.6	13	
9 期 末 (2019年 5 月 16 日)	8,435	0	0.5	—	98.1	13	

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

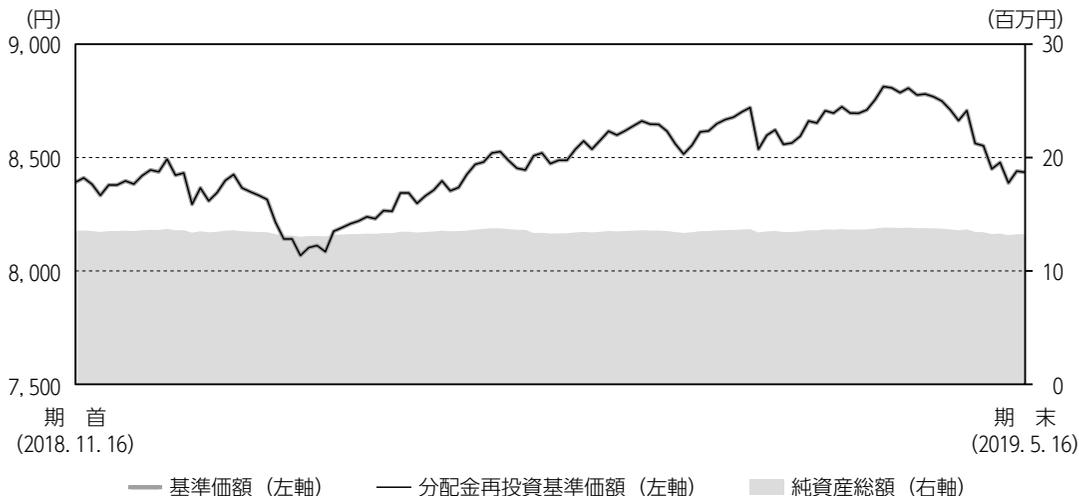
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額・騰落率

期首：8,391円

期末：8,435円（分配金0円）

騰落率：0.5%（分配金込み）

### 基準価額の主な変動要因

ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）の受益証券を通じて、米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資し、為替取引等を活用して、分散通貨への投資成果の獲得をめざし運用を行った結果、保有債券の価格の上昇（債券利回りの低下）がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）：ダイワ・プレミアム・トラスト  
 トーダイワ／NB・ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）

## NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉 世界通貨分散コース

年 月 日	基 準 価 額		公 社 組 比	債 入 率	投 資 受 組	信 証 入 比	託 券 率
	騰 落	率					
(期 首) 2018年11月16日	円 8,391	% —		% —			% 99.6
11月末	8,445	0.6		—			99.6
12月末	8,103	△ 3.4		—			99.6
2019年 1 月末	8,426	0.4		—			99.7
2 月末	8,618	2.7		—			98.8
3 月末	8,564	2.1		—			98.8
4 月末	8,663	3.2		—			98.1
(期 末) 2019年 5 月16日	8,435	0.5		—			98.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2018. 11. 17 ~ 2019. 5. 16)

### ■米国債券市況

米国債券市場では、10年債利回りで見ると金利は低下しました。

当作成期首から2019年1月上旬にかけては、原油価格の下落を受けたインフレ圧力の低下や米中貿易摩擦に伴う景気鈍化への懸念、またF R B（米国連邦準備制度理事会）の金融引き締め姿勢の後退などから、金利は大幅に低下しました。その後は一進一退の展開が続きましたが、3月に入ると、米国の経済指標の下振れや欧州の景況感の大幅な悪化を受けた世界的な景気悪化観測が高まったほか、F R Bによる緩和的な政策姿勢などから金利低下圧力が強まりました。4月には、米国や中国の経済指標の改善を受けて金利は一時上昇に転じたものの、その後は米中貿易摩擦の深刻化などが意識されて金利は再度低下し、当作成期末を迎えました。

### ■為替相場

当作成期における分散通貨（※1）の値動きは、対円でおおむね下落しました。

米ドル、カナダ・ドル、ブラジル・レアル、豪ドル、インドネシア・ルピア、ユーロ、韓国ウォン、英ポンド、インド・ルピー、ロシア・ルーブル、中国・人民元は対円で下落しました。一方で、メキシコ・ペソは対円で上昇しました。

※1 分散通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引等の対象通貨として選定された通貨をいいます。

### ■短期金利市況

米ドル以外の選定した通貨の短期金利は、ユーロ、英ポンド、カナダ・ドル、韓国ウォン、豪ドルについては米ドルの短期金利を下回る水準で推移しました。その他の通貨については、米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。

米国では、2018年12月に利上げを実施し、政策金利の誘導目標レンジを2.00~2.25%から2.25~2.50%に引き上げました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建ての複数種別の債券等（※2）に分散投資を行うとともに、機動的に配分比

率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

#### ■ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等（※2）に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

また、原則として米ドル売り／分散通貨買いの為替取引等を活用して、以下の方針に沿って選定した分散通貨への投資成果の獲得をめざします。

- ・原則として、先進国通貨と新興国通貨合わせて12通貨に均等投資することを基本とします。
- ・分散通貨は、各国経済規模や通貨の流動性等を考慮し、原則、年1回見直します。

\*流動性が著しく悪化した通貨が存在する場合などには、投資する通貨が12通貨を下回る場合があります。

#### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

※2 国債・政府機関債、投資適格社債、ハイ・イールド社債、資産担保証券、バンクローン等です。

## ポートフォリオについて

(2018. 11. 17 ~ 2019. 5. 16)

### ■当ファンド

当ファンドは、ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）への投資割合を高位に維持しました。

### ■ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

また、為替取引等を活用して、分散通貨への投資成果の獲得をめざしました。取引対象通貨においては、先進国通貨と新興国通貨の中から各国の経済規模や通貨の流動性等を考慮し、12通貨を選定し、運用を行いました。また、取引対象通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100%を維

持しました。

## ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債や現先取引、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期は、分配対象額が計上できなかったため、収益分配を行いませんでした。

## ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当期	
	2018年11月17日 ～2019年5月16日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	—

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンの最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

### ■ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行うとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンの最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

また、原則として米ドル売り／分散通貨買いの為替取引等を活用して、以下の方針に沿って選定した分散通貨への投資成果の獲得をめざします。

- ・原則として、先進国通貨と新興国通貨合わせて12通貨に均等投資することを基本とします。
- ・分散通貨は、各国経済規模や通貨の流動性等を考慮し、原則、年1回見直します。

\*流動性が著しく悪化した通貨が存在する場合などには、投資する通貨が12通貨を下回る場合があります。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018. 11. 17～2019. 5. 16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	20円	0. 230%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8, 487円です。
(投 信 会 社)	(16)	(0. 187)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(2)	(0. 027)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	20	0. 233	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2018年11月17日から2019年5月16日まで)

	買 付		売 付	
	口数	金額	口数	金額
外国 (邦貨建)	千口	千円	千口	千円
	—	—	6.8343	600

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2018年11月17日から2019年5月16日まで)

当 期				当 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				NB STRATEGIC INCOME FUND GLOBALCURRENCY N 1 CLASS (ケイマン諸島)	6.8343	600	87

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2018年11月17日から2019年5月16日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 350	百万円 350	% 100.0	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	8,043,208	—	—	—	—	—
現在取引(その他有価証券)	113,999	—	—	113,999	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■投信会社(自社)による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首 保有額	当作成期中 設定額	当作成期中 解約額	当作成期末 保有額	取 引 の 理 由
百万円 12	百万円 —	百万円 —	百万円 12	当初設定時における 取得

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) NB STRATEGIC INCOME FUND GLOBALCURRENCY N1 CLASS	149.81182	12,982	98.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	0	0	0

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年5月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	12,982	97.9
ダイワ・マネー・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	278	2.1
投資信託財産総額	13,262	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年5月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	13,262,885円
コール・ローン等	278,896
投資信託受益証券(評価額)	12,982,991
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	998
(B) 負債	31,392
未払信託報酬	30,943
その他未払費用	449
(C) 純資産総額(A-B)	13,231,493
元本	15,687,257
次期繰越損益金	2,455,764
(D) 受益権総口数	15,687,257口
1万口当り基準価額(C/D)	8,435円

\* 期首における元本額は16,130,641円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は443,384円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,435円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,455,764円です。

■損益の状況

当期 自2018年11月17日 至2019年5月16日

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	99,790円
売買益	102,185
売買損	△ 2,395
(B) 信託報酬等	△ 31,392
(C) 当期損益金(A+B)	68,398
(D) 前期繰越損益金	△ 1,122,353
(E) 追加信託差損益金 (売買損益相当額)	△ 1,401,809
(F) 合計(C+D+E)	△ 2,455,764
次期繰越損益金(F)	△ 2,455,764
追加信託差損益金 (売買損益相当額)	△ 1,401,809
繰越損益金	△ 1,053,955

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	0
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	0
(h) 受益権総口数	15,687,257口

ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／NB・ストラテジック・インカム・ファンド  
 (ノンヘッジ／N1クラス) / (円ヘッジ／N1クラス) / (通貨分散／N1クラス)

当ファンド (NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉米ドルコース／円コース／世界通貨分散コース) はケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／NB・ストラテジック・インカム・ファンド (ノンヘッジ／N1クラス) / (円ヘッジ／N1クラス) / (通貨分散／N1クラス)」に投資しておりますが、以下の内容はすべてのクラスを合算しております。

(注) 2019年5月16日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

(米ドル建て)

貸借対照表  
 2018年2月28日

資産

投資資産の評価額 (簿価 \$27, 192, 723)	\$ 27, 285, 425
現金	568
外国為替先渡契約による評価益	394, 652
未収:	
売却済みの投資	148, 213
売却済みの投資 (繰延受渡)	563, 896
利息	75, 761
スワップ契約に係る未収変動証拠金	53, 957
<b>資産合計</b>	<b>28, 522, 472</b>

負債

外国為替先渡契約による評価損	4, 801
先物取引に係る未払変動証拠金	18, 974
未払:	
購入済みの投資	150, 000
購入済みの投資 (繰延受渡)	5, 827, 473
償還済み受益証券	46, 858
専門家報酬	59, 304
保管会社報酬	34, 936
運用会社報酬	19, 985
会計および管理会社報酬	14, 703
名義書換代理人報酬	800
為替取引執行会社報酬	566

## NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉

為替運用会社報酬	141
その他負債	928
<b>負債合計</b>	<b>6, 179, 469</b>

<b>純資産</b>	<b>\$ 22, 343, 003</b>
------------	------------------------

### 純資産

通貨セレクトクラス	\$ 1, 164, 147
通貨分散／N1クラス	131, 285
円ヘッジクラス	10, 391, 954
円ヘッジ／N1クラス	5, 659, 544
ノンヘッジクラス	2, 571, 259
ノンヘッジ／N1クラス	2, 424, 814
	<b>22, 343, 003</b>

### 発行済み受益証券口数

通貨セレクトクラス	1, 868, 808
通貨分散／N1クラス	156, 646
円ヘッジクラス	13, 015, 970
円ヘッジ／N1クラス	5, 662, 947
ノンヘッジクラス	2, 266, 340
ノンヘッジ／N1クラス	2, 145, 033

### 受益証券1口当り純資産額

通貨セレクトクラス	\$ 0. 623
通貨分散／N1クラス	\$ 0. 838
円ヘッジクラス	\$ 0. 798
円ヘッジ／N1クラス	\$ 0. 999
ノンヘッジクラス	\$ 1. 135
ノンヘッジ／N1クラス	\$ 1. 130

## 損益計算書

2018年2月28日に終了した年度

## 投資収益

受取利息（源泉徴収税 \$3,395 控除後）	\$	559,398
配当収益（源泉徴収税 \$105,021 控除後）		245,048
<b>投資収益合計</b>		<b>804,446</b>

## 費用

運用会社報酬		132,844
保管会社報酬		109,576
専門家報酬		59,564
会計および管理会社報酬		45,001
受託会社報酬		29,544
名義書換代理人報酬		9,434
登録料		2,128
為替運用会社報酬		2,089
為替取引執行会社報酬		1,826
<b>費用合計</b>		<b>392,006</b>

## 投資純利益

412,440

## 実現益（損）および評価益（損）：

## 実現益（損）：

証券投資		(29,487)
先物取引		36,265
スワップ契約		46,050
外国為替取引および外国為替先渡契約		166,611
<b>純実現益</b>		<b>219,439</b>

## 評価益（損）の純変動：

証券投資		(18,684)
スワップ契約		719
先物取引		31,325
外国為替換算および外国為替先渡契約		351,878
<b>評価益（損）の純変動</b>		<b>365,238</b>

## 純実現・純評価益

584,677

## 運用による純資産の純増

\$ 997,117

# NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉

(米ドル建て)

## 投資明細表 2018年2月28日

	元本	有価証券の明細	対純資産 比率	評価額	元本	有価証券の明細	対純資産 比率	評価額
		債券 (78.4%)				HSBC Holdings PLC (a), (b), (c)		
		オーストラリア (0.5%)				6.00% due 2049/12/31		122,580
		社債 (0.5%)			USD	120,000		
		Westpac Banking Corp. (a), (b), (c)						<u>122,580</u>
USD	115,000	5.00% due 2049/12/31		\$ 109,947				<u>122,580</u>
		社債合計		<u>109,947</u>		英国合計 (簿価 \$120,000)		
		オーストラリア合計 (簿価 \$115,000)		<u>109,947</u>		米国 (74.9%)		
		ブラジル (0.3%)				資産担保証券 (19.9%)		
		社債 (0.3%)			USD	228,680		223,260
		Vale Overseas, Ltd.				Accredited Mortgage Loan Trust Series 2006-1 Class A 4 (a), (b)		
USD	55,000	6.25% due 2026/8/10		62,024		1.90% due 2036/4/25		
		社債合計		<u>62,024</u>	USD	49,324		49,187
		ブラジル合計 (簿価 \$62,285)		<u>62,024</u>		1.53% due 2020/3/16		
		フランス (0.4%)				Capital One Multi-Asset Execution Trust Series 2014-A 4 Class A 4 (b)		
		社債 (0.4%)			USD	240,000		240,640
		BNP Paribas S. A.				1.95% due 2022/6/15		
USD	85,000	2.38% due 2020/5/21		83,985		Capital One Multi-Asset Execution Trust Series 2015-A 1 Class A 1		
		社債合計		<u>83,985</u>	USD	60,000		59,993
		フランス合計 (簿価 \$84,174)		<u>83,985</u>		1.39% due 2021/1/15		
		メキシコ (0.8%)				Capital One Multi-Asset Execution Trust Series 2016-A 1 Class A 1 (b)		
		社債 (0.8%)			USD	40,000		40,140
		Grupo Bimbo SAB de CV (a)				2.04% due 2022/2/15		
USD	100,000	4.70% due 2047/11/10		95,750		Carrington Mortgage Loan Trust Series 2005-NC 5 Class M 1 (a), (b)		
		Petroleos Mexicanos (d)			USD	280,000		279,357
USD	80,000	6.50% due 2027/3/13		85,510		2.10% due 2035/10/25		
		社債合計		<u>181,260</u>		Carrington Mortgage Loan Trust Series 2006-NC 1 Class A 4 (a), (b)		
		メキシコ合計 (簿価 \$183,958)		<u>181,260</u>		1.93% due 2036/1/25		409,852
		スペイン (1.0%)			USD	415,000		
		社債 (1.0%)				Carrington Mortgage Loan Trust Series 2006-RFC 1 Class A 4 (a), (b)		
		Banco Santander S. A.			USD	415,000		409,148
USD	75,000	3.80% due 2028/2/23		72,076		1.86% due 2036/5/25		
		Telefonica Emisiones SAU			USD	415,000		409,148
USD	150,000	4.90% due 2048/3/6		150,593		Chase Issuance Trust Series 2016-A 2 Class A		
		社債合計		<u>222,669</u>	USD	200,000		196,985
		スペイン合計 (簿価 \$225,366)		<u>222,669</u>		1.37% due 2021/6/15		
		英国 (0.5%)				COMM Mortgage Trust Series 2013-LC 6 Class XB (b), (d)		
		社債 (0.5%)						

NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉

元本	有価証券の明細	対純資産 比率	評価額	元本	有価証券の明細	対純資産 比率	評価額
USD 4,000,000	0.37% due 2046/1/10 COMM Mortgage Trust Series 2014-CR17 Class XA (b)		71,840		JP Morgan Mortgage Acquisition Trust Series 2007-CH1 Class MV 2 (a), (b)		
USD 1,485,118	1.12% due 2047/5/10 COMM Mortgage Trust Series 2014-UBS3 Class XA (b)		66,298	USD 115,000	1.90% due 2036/11/25 Morgan Stanley Bank of America Merrill Lynch Trust Series 2014-C16 Class XA (b)		113,861
USD 1,245,953	1.30% due 2047/6/10 CWABS Asset-Backed Certificates Trust Series 2005-AB1 Class M1 (a), (b)		63,228	USD 1,529,030	1.16% due 2047/6/15 Navient Student Loan Trust Series 2016-6 Class A1 (a), (b), (d)		69,248
USD 106,417	2.25% due 2035/8/25 Federal Home Loan Mortgage Corp. Structured Agency Credit Risk Debt Notes Series 2017-DNA2 Class M2 (a), (b)		106,133	USD 40,852	2.10% due 2066/3/25 Park Place Securities, Inc. Asset-Backed Pass-Through Certificates Series 2005-WCH1 Class M4 (a), (b)		40,956
USD 250,000	5.07% due 2029/10/25 Federal National Mortgage Association Connecticut Avenue Securities Series 2017-C03 Class 1M2 (a), (b)		274,103	USD 303,000	2.87% due 2036/1/25 RAAC Trust Series 2006-SP2 Class M1 (a), (b)		304,598
USD 110,000	4.62% due 2029/10/25 Federal National Mortgage Association Connecticut Avenue Securities Series 2017-C05 Class 1M2 (a), (b)		117,485	USD 200,000	1.96% due 2036/2/25 RAMP Trust Series 2005-RZ2 Class M4 (a), (b)		198,621
USD 75,000	3.82% due 2030/1/25 GS Mortgage Securities Trust Series 2014-GC18 Class XA (b)		76,341	USD 230,000	2.18% due 2035/5/25 Structured Asset Securities Corp. Mortgage Loan Trust Series 2005-WF4 Class M4 (a), (b)		229,772
USD 1,452,559	1.11% due 2047/1/10 GSAA Home Equity Trust Series 2005-5 Class B1 (a), (b)		64,823	USD 350,000	2.20% due 2035/11/25 Structured Asset Securities Corp. Mortgage Loan Trust Series 2006-AM1 Class A4 (a), (b)		351,977
USD 90,000	3.35% due 2035/2/25 Home Equity Asset Trust Series 2005-1 Class M5 (a), (b)		84,941	USD 100,033	1.78% due 2036/4/25 Toyota Auto Receivables Owner Trust Series 2017-B Class A2A (a)		99,662
USD 65,000	2.72% due 2035/5/25 HSI Asset Securitization Corp. Trust Series 2006-OPT1 Class M1 (a), (b)		63,195	USD 92,516	1.46% due 2020/1/15		92,198
USD 50,000	1.98% due 2035/12/25		49,484		<b>資産担保証券合計</b>		<b>4,447,326</b>
					<b>社債 (15.7%)</b>		
				USD 60,000	4.90% due 2046/11/30 AbbVie, Inc. (a)		64,523
				USD 70,000	4.70% due 2045/5/14 Anheuser-Busch InBev Finance, Inc. (a)		72,227

## NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉

	元本	有価証券の明細	対純資産 比率	評価額		元本	有価証券の明細	対純資産 比率	評価額
USD	45,000	4.70% due 2036/2/1 Apple, Inc. (a)		47,289	USD	65,000	4.02% due 2038/10/31 (a), (b)		62,811
USD	70,000	4.65% due 2046/2/23 AT&T, Inc. (a)		76,353	USD	60,000	5.15% due 2045/5/22 Hess Corp. (a)		64,724
USD	75,000	4.75% due 2046/5/15		71,059	USD	55,000	4.30% due 2027/4/1 Hewlett Packard Enterprise Co. (a)		53,839
USD	110,000	5.45% due 2047/3/1 Bank of America Corp.		114,596	USD	70,000	3.60% due 2020/10/15		70,804
USD	75,000	3.95% due 2025/4/21 BAT Capital Corp. (a), (d)		74,881	USD	95,000	4.90% due 2025/10/15 JPMorgan Chase & Co. (a), (b)		98,475
USD	105,000	4.54% due 2047/8/15 Broadcom Corp. / Broadcom Cayman Finance, Ltd. (a)		102,125	USD	55,000	3.88% due 2038/7/24		53,101
USD	20,000	3.50% due 2028/1/15		18,464	USD	55,000	3.90% due 2049/1/23 Kinder Morgan, Inc. (a)		51,761
USD	125,000	3.88% due 2027/1/15 Charter Communications Operating LLC / Charter Communications Operating Capital (a)		119,852	USD	85,000	5.00% due 2021/2/15 (d)		88,684
USD	165,000	4.91% due 2025/7/23		169,620	USD	90,000	5.55% due 2045/6/1 Kroger Co. (a)		94,759
USD	30,000	5.38% due 2047/5/1		29,695	USD	15,000	4.45% due 2047/2/1 Microsoft Corp. (a)		14,113
USD	65,000	6.48% due 2045/10/23 Dell International LLC / EMC Corp. (a), (d)		73,223	USD	55,000	4.50% due 2057/2/6 Morgan Stanley (a), (b)		60,382
USD	145,000	5.45% due 2023/6/15		152,756	USD	110,000	3.77% due 2029/1/24		107,644
USD	60,000	6.02% due 2026/6/15 Discovery Communications LLC (a)		64,059	USD	60,000	5.45% due 2049/12/31 (c) MPLX LP (a)		61,350
USD	60,000	5.00% due 2037/9/20		59,901	USD	65,000	4.13% due 2027/3/1		64,502
USD	50,000	5.20% due 2047/9/20 Energy Transfer LP (a)		49,703	USD	110,000	4.70% due 2048/4/15 Noble Energy, Inc. (a)		106,587
USD	45,000	6.50% due 2042/2/1 Energy Transfer Partners LP (a), (b), (c)		49,794	USD	75,000	5.25% due 2043/11/15 Synchrony Financial (a)		79,402
USD	105,000	6.63% due 2049/12/31 EPR Properties (a)		101,062	USD	35,000	2.70% due 2020/2/3 Verizon Communications, Inc.		34,757
USD	60,000	5.75% due 2022/8/15 Ford Motor Credit Co. LLC		64,145	USD	50,000	4.13% due 2046/8/15		44,549
USD	90,000	3.20% due 2021/1/15 General Electric Co. (a), (b), (c)		89,408	USD	74,000	4.67% due 2055/3/15 Wells Fargo & Co.		69,112
USD	295,000	5.00% due 2049/12/31 Goldman Sachs Group, Inc.		291,312	USD	35,000	2.55% due 2020/12/7		34,572
USD	35,000	2.60% due 2020/4/23 (a)		34,727	<b>社債合計</b>				<b>3,511,485</b>
USD	75,000	3.69% due 2028/6/5 (a), (b)		72,975	<b>国債・機関債 (39.3%)</b>				
USD	135,000	3.81% due 2029/4/23 (a), (b)		131,808	USD	265,000	3.00% due 2033/3/1		263,758
					USD	185,000	3.00% due 2048/3/1		179,171
					USD	80,000	3.50% due 2033/3/1		81,368
					USD	845,000	3.50% due 2048/3/1		843,933
					USD	1,100,000	4.00% due 2048/3/1		1,126,598
					USD	100,000	4.50% due 2043/3/15		104,710

NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉

元本	有価証券の明細	対純資産 比率	評価額	口数	有価証券の明細	対純資産 比率	評価額
USD 230,000	Federal National Mortgage Association 3.00% due 2033/ 3 /1, TBA (e)		228,967	11,000	VanEck Vectors JP Morgan EM Local Currency Bond ETF		214,060
USD 745,000	3.50% due 2048/ 3 /1, TBA (e)		743,595		<b>米国合計</b>		<b>7,710,230</b>
USD 1,340,000	4.00% due 2048/ 3 /1, TBA (e)		1,372,322		<b>上場投資信託 (ETF) 合計</b>		<b>7,710,230</b>
USD 280,000	4.50% due 2048/ 3 /1, TBA (e)		293,110		<b>簿価 \$7,620,609</b>		
USD 20,000	5.63% due 2037/ 7 /15 U. S. Treasury Bonds		26,602		<b>元本</b>		
USD 170,000	2.25% due 2046/ 8 /15 U. S. Treasury Inflation Indexed Bonds		141,777	1,500,000	<b>短期投資 (9.2%)</b>		
USD 195,592	2.38% due 2027/ 1 /15		223,203		<b>米国 (6.7%)</b>		
USD 740,608	2.50% due 2029/ 1 /15		874,135		<b>国債・機関債 (6.7%)</b>		
USD 104,165	3.38% due 2032/ 4 /15		139,501		U. S. Treasury Bill <sup>(1)</sup>		
USD 251,493	3.63% due 2028/ 4 /15		321,426		zero coupon, due 2018/ 5 /24		1,495,833
USD 659,824	3.88% due 2029/ 4 /15 U. S. Treasury Inflation Indexed Notes		875,323		<b>国債・機関債合計</b>		<b>1,495,833</b>
USD 395,515	0.25% due 2025/ 1 /15 U. S. Treasury Notes		384,891		<b>米国合計 (簿価 \$1,495,833)</b>		<b>1,495,833</b>
USD 100,000	1.13% due 2019/ 2 /28		99,047	EUR 0 <sup>(2)</sup>	<b>グランド・ケイマン (0.0%)</b>		
USD 385,000	1.50% due 2023/ 2 /28		364,126	JPY 46,634	<b>定期預金 (0.0%)</b>		
USD 15,000	1.63% due 2026/ 2 /15		13,691	GBP 6	Brown Brothers Harriman & Co.		
USD 80,000	2.13% due 2021/12/31		78,753	CAD 54	0.58% due 2018/ 3 /1		1
USD 5,000	2.25% due 2027/ 2 /15		4,750	AUD 912	0.31% due 2018/ 3 /1		437
				NZD 55	0.23% due 2018/ 3 /1		8
				ZAR 1,419	0.55% due 2018/ 3 /1		42
					0.63% due 2018/ 3 /1		710
					0.90% due 2018/ 3 /1		40
					5.70% due 2018/ 3 /1		120
					<b>定期預金合計</b>		<b>1,358</b>
					<b>グランド・ケイマン合計 (簿価 \$1,358)</b>		<b>1,358</b>
					<b>スウェーデン (2.5%)</b>		
					<b>定期預金 (2.5%)</b>		
					Skandinaviska Enskilda Banken AB		
				USD 551,971	0.78% due 2018/ 3 /1		551,971
					<b>定期預金合計</b>		<b>551,971</b>
					<b>スウェーデン合計 (簿価 \$551,971)</b>		<b>551,971</b>
19,420	iShares iBoxx \$ High Yield Corporate Bond ETF		1,673,616		<b>短期投資合計 (簿価 \$2,049,162)</b>		<b>2,049,162</b>
18,900	iShares JP Morgan USD Emerging Markets Bond ETF		2,127,006		<b>投資総額 (簿価 \$27,192,723)</b>	122.1%	\$ 27,285,425
50,510	SPDR Bloomberg Barclays High Yield Bond ETF		1,828,967		<b>現金および他の資産を超過する負債</b>	(22.1)	(4,942,422)
67,851	SPDR Bloomberg Barclays Short Term High Yield Bond ETF		1,866,581		<b>純資産</b>	<b>100.0%</b>	<b>\$ 22,343,003</b>

## NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉

- (1) この証券のすべてもしくは一部が2018年2月28日時点の先物取引の担保として取引相手に差し入れられています。  
 (2) 0.5未満

投資明細表のすべての有価証券は運用会社の最善の判断に基づいて有価証券の所在地ではなく、リスクの所在国によって分類されています。

用語集：

TBA To be announced (事後告知) の略。米国政府機関によって発行される不動産ローン担保証券の先渡取引で、合意された将来の決済日に受渡しがされます。

- (a) 償還条項付き証券。  
 (b) 2018年2月28日時点の変動金利証券。  
 (c) 永久債。  
 (d) 144A 証券 - 1933年証券取引法の規則144A の下でSECへの登録の適用除外になっている証券。これらの証券は、登録せずに主として適格機関投資家に転売が可能です。他に指定がない限り、これらの証券は非流動的だとはみなされません。  
 (e) 発行日取引または繰延受渡しベースで購入された証券。

2018年2月28日時点で、以下の先物取引によりブローカーに対し現金\$1,013の未払金があります。

### 2018年2月28日時点の先物取引（純資産の-0.1%）

ポジション	銘柄	限月	枚数	評価益 / (損)
Long	Brazil Real April Futures	2018年3月	4	\$ 840
Short	Euro-OAT March Futures	2018年3月	(4)	(5,086)
Long	Mexican Peso March Futures	2018年3月	9	4,591
Short	U. S. Treasury 10 Year Note (CBT) June Futures	2018年6月	(21)	(4,248)
Short	U. S. Treasury 10 Year Ultra June Futures	2018年6月	(11)	(5,823)
Long	U. S. Treasury 5 Year Note (CBT) June Futures	2018年6月	2	281
Short	U. S. Treasury Long Bond (CBT) June Futures	2018年6月	(8)	(8,516)
				\$ (17,961)

2018年2月28日時点で、以下の中央清算対象スワップ契約によりブローカーに対し現金\$36,700の未収金があります。

### 2018年2月28日時点の中央清算対象のクレジット・デフォルト・スワップ契約（純資産の0.0%）

通貨	取引相手	想定元本	信用プロ テクション	インデックス	受取 / (支払)	インプライド 信用スプレッド	満期日	評価益 / (損)
USD	Goldman Sachs Group, Inc.	218,250	Sell	CDX. EM. 28 Index	1.000%	1.41%	2022/12/20	\$ 7,822

### 2018年2月28日時点の中央清算対象の金利スワップ契約（純資産の0.0%）

通貨	取引相手	想定元本	指標金利	受取 / (支払)	満期日	評価益 / (損)
USD	Goldman Sachs Group, Inc.	130,000	3-Month USD-LIBOR	Receive, 2.426%	2027/12/7	\$ 4,808
USD	Goldman Sachs Group, Inc.	130,000	3-Month USD-LIBOR	Receive, 2.432%	2027/12/7	4,627
						\$ 9,435

## 2018年2月28日時点の通貨セレクトクラス外国為替先渡契約（純資産の0.0%）

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	純評価益 / (損)
CNY	Citibank N. A.	1,199,958	2018/3/13	USD	190,270	\$ —	\$ (874)	\$ (874)
IDR	Citibank N. A.	2,591,624,948	2018/3/13	USD	190,576	—	(2,219)	(2,219)
INR	Citibank N. A.	12,910,405	2018/3/13	USD	199,618	—	(1,708)	(1,708)
MXN	Citibank N. A.	3,639,847	2018/3/13	USD	192,550	17	—	17
RUB	Citibank N. A.	11,014,368	2018/3/13	USD	191,209	4,106	—	4,106
TRY	Citibank N. A.	806,402	2018/3/13	USD	211,117	22	—	22
						\$ 4,145	\$ (4,801)	\$ (656)

## 2018年2月28日時点の円ヘッジクラス外国為替先渡契約（純資産の1.1%）

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	純評価益 / (損)
JPY	Citibank N. A.	1,112,135,733	2018/3/13	USD	10,174,837	\$ 254,801	\$ —	\$ 254,801

## 2018年2月28日時点の円ヘッジN1クラス外国為替先渡契約（純資産の0.6%）

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	純評価益 / (損)
JPY	Citibank N. A.	600,500,141	2018/3/13	USD	5,495,801	\$ 135,706	\$ —	\$ 135,706

## 通貨の略称

AUD	—	オーストラリア・ドル
CAD	—	カナダ・ドル
CNY	—	人民元
EUR	—	ユーロ
GBP	—	英ポンド
IDR	—	インドネシア・ルピア
INR	—	インド・ルピー
JPY	—	日本円
MXN	—	メキシコ・ペソ
NZD	—	ニュージーランド・ドル
RUB	—	ロシア・ルーブル
TRY	—	トルコ・リラ
USD	—	米ドル
ZAR	—	南アフリカ・ランド

## ダイワ・マネー・マザーファンド

### <補足情報>

当ファンド（NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉米ドルコース／円コース／世界通貨分散コース）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2018年12月10日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2019年5月16日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を41ページに併せて掲載いたしました。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄 公 社 債

(2018年11月17日から2019年5月16日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
801 国庫短期証券 2019/3/18	千円 350,004		千円

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

### ■組入資産明細表

下記は、2019年5月16日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（64,819,999千円）の内容です。

#### 国内その他有価証券

	2019年5月16日現在	
	評 価 額	比 率
国内短期社債等	千円 999,997	% <1.5>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネー・マザーファンド

## 運用報告書 第14期 (決算日 2018年12月10日)

(作成対象期間 2017年12月12日～2018年12月10日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

## 大和投資信託

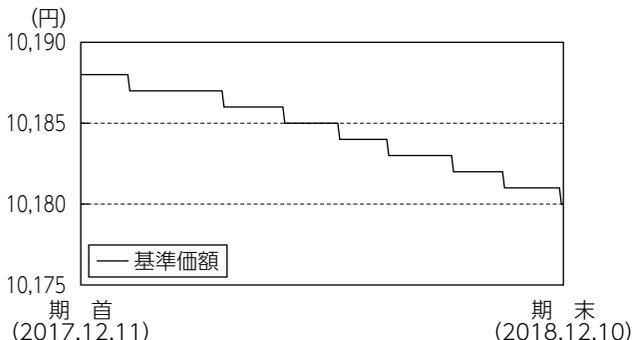
Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

# ダイワ・マネー・マザーファンド

## ■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 率
	騰 落 率	組 入 比 率	
	円	%	%
(期首)2017年12月11日	10,188	-	-
12月末	10,188	0.0	-
2018年 1 月末	10,187	△0.0	-
2 月末	10,187	△0.0	0.5
3 月末	10,186	△0.0	-
4 月末	10,186	△0.0	-
5 月末	10,185	△0.0	-
6 月末	10,184	△0.0	-
7 月末	10,184	△0.0	-
8 月末	10,183	△0.0	-
9 月末	10,182	△0.1	-
10 月末	10,181	△0.1	-
11 月末	10,181	△0.1	-
(期末)2018年12月10日	10,180	△0.1	-

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

### 《運用経過》

#### ◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,188円 期末：10,180円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

マイナス金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

#### ◆ 投資環境について

##### ○ 国内短期金融市況

当作成期首より、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持し、2018年7月には金融緩和継続のための枠組み強化を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券(3カ月物)の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

#### ◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

#### ◆ ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

#### ◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

### 《今後の運用方針》

流動性及資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	1 (1)
合 計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

## ■ 売買および取引の状況

### (1) 公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	890,004	(890,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ( )内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

### (2) その他有価証券

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国内短期社債等	245,999,587	245,999,594 ( )

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

当 期		当 期	
買	付	売	付
銘	柄 金 額	銘	柄 金 額
	千円		千円
757 国庫短期証券 2018/8/13	400,002		
731 国庫短期証券 2018/7/10	280,000		
723 国庫短期証券 2018/3/5	210,001		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子は含まれておりません)。  
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表  
国内その他有価証券

	当 期		末	
	評 価	額 比	評 価	率
	千円	%		%
国内短期社債等	999,997			<1.2>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年12月10日現在

項 目	当 期		末	
	評 価	額 比	評 価	率
	千円	%		%
コール・ローン等、その他	80,270,040			100.0
投資信託財産総額	80,270,040			100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年12月10日現在

項 目	当 期	末
(A) 資産	80,270,040,211円	
コール・ローン等	79,270,042,938	
現先取引(その他有価証券)	999,997,273	
(B) 負債	241,522,286	
未払解約金	240,343,000	
その他未払費用	1,179,286	
(C) 純資産総額(A-B)	80,028,517,925	
元本	78,610,288,449	
次期繰越損益金	1,418,229,476	
(D) 受益権総口数	78,610,288,449口	
1万口当り基準価額(C/D)		10,180円

\* 期首における元本額は68,390,547,168円、当作成期間中における追加設定元本額は259,276,972,092円、同解約元本額は249,057,230,811円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・グローバルI o T 関連株ファンド -A I 新時代- (為替ヘッジあり) 977,694円、ダイワ・グローバルI o T 関連株ファンド -A I 新時代- (為替ヘッジなし) 977,694円、ダイワF E グローバル・バリュー (為替ヘッジあり) 98,069円、ダイワF E グローバル・バリュー (為替ヘッジなし) 98,069円、NWQ グローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり) 49,107円、NWQ グローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし) 49,107円、ダイワ/R I C I \*

コモディティ・ファンド5,024,392円、U S 債券NB戦略ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)1,676円、U S 債券NB戦略ファンド(為替ヘッジなし/年1回決算型)1,330円、スマート・アロケーション・Dガード53,768,983円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>米ドルコース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、堅実バランスファンド -ハジメの一步- 327,110,605円、NWQ グローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型) 180,729円、NWQ グローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型) 737,649円、NWQ グローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型) 95,276円、NWQ グローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型) 337,885円、D C ダイワ・マネー・ポートフォリオ3,941,012,171円、ダイワファンドラップ コモディティセレクト317,088,630円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型) 12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株式ファンド -パラダイムシフト- 9,853,995円、低リスク型アロケーションファンドII (適格機関投資家専用) 13,743,005,794円、フルペア・マネー・ポートフォリオV 18,757,636,566円、ブル3倍日本株ポートフォリオV 39,796,042,643円、ベア2倍日本株ポートフォリオV 1,364,716,363円、ダイワF E グローバル・バリュー株ファンド (ダイワSMA専用) 4,090,590円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 155,317円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 38,024円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型) 4,380円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型) 22,592円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド164,735円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ121,376,415円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース) 33,689円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース) 96,254円、ダイワ・ダブルバランス・ファンド (Dガード付/部分為替ヘッジあり) 145,491,182円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジあり) 988,283円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジなし) 4,926,018円、ダイワ米国ML P ファンド (毎月分配型) 米ドルコース285,029円、ダイワ米国ML P ファンド (毎月分配型) 日本円コース144,570円、ダイワ米国ML P ファンド (毎月分配型) 通貨αコース677,850円、ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型) 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ1,747,902円、D C スマート・アロケーション・Dガード4,510,003円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型) 1,097円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型) 2,690円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,350円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース98,202円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 98,174円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,180円です。

# ダイワ・マネー・マザーファンド

## ■損益の状況

当期 自2017年12月12日 至2018年12月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 53,286,101円
受取利息	18,213
支払利息	△ 53,304,314
(B) その他費用	△ 8,395,849
(C) 当期損益金(A + B)	△ 61,681,950
(D) 前期繰越損益金	1,286,098,991
(E) 解約差損益金	△4,593,187,480
(F) 追加信託差損益金	4,786,999,915
(G) 合計(C + D + E + F)	1,418,229,476
次期繰越損益金(G)	1,418,229,476

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。